

第1回 代田の街づくり学習会 開催概要（代田小学校開催分）

- 【日時】 平成25年11月6日（水） 18時00分～20時00分
【会場】 世田谷区立代田小学校 1階図書室
【参加者】 21名
【次第】
1. 開会
2. 報告 代田地域の街づくりの現況と課題
「平成24年度地区街づくり計画等策定基礎調査の結果報告」
3. 質疑応答
4. 意見交換
5. 次回以降のご案内
6. 閉会
【配布資料】
・ 次第
・ 代田地域の街づくりの現況と課題
「平成24年度地区街づくり計画等策定基礎調査の結果報告」
・ 代田1～6丁目地図

【議事】

1. 開会（18:00）
主催者あいさつ（北沢総合支所街づくり課長）
 - ・ 世田谷区では、街づくり条例に基づき、地区街づくり計画の策定を進めている。地区街づくり計画を策定するにあたっては、街づくり協議会という地区の方々に構成される組織を立ち上げ、街の現状確認から計画づくりまでをしてもらい、区へ計画をご提案いただくという流れで進めている。
 - ・ 代田地区（1～6丁目）は、真ん中を通る小田急線がこの3月に地下化されたが、今後、駅前広場が整備され、街が大きく変わっていく。世田谷代田駅駅前広場については、昨年度ワークショップを開催して基本設計まで至っているが、今後は、協議会を立ち上げて世田谷代田駅を中心とした街づくりを展開していければと考えている。
 - ・ まずは、街づくりを進めるにあたり、1～6丁目の地区ごとのそれぞれの課題や特色をこの学習会を通して把握していければと考えている。世田谷区は街づくりを先進的に進めた区と言われている。今後、区内の先進事例なども視察しながら、学習会を進めていければと思っているので、よろしく願いしたい。
2. 報告
代田地域の街づくりの現況と課題
「平成24年度地区街づくり計画等策定基礎調査」の結果報告
 - ・ 平成24年度に調査を受託した有限会社大戸まちづくり研究所の大戸徹氏より、配布資料とスライドを使って報告を行った。
3. 質疑応答
 - （質疑1） 小田急線上部利用について、防災を前提にして活用をするのが一番良いと思う。既に使い方が決まっているのか？
 - （区応答） 現在、小田急電鉄・都・区で調整を進めている。拠点、拠点で防災ひろば、公園等を整備する予定もある。基本は小田急の所有地だが、連続立体交差事業が実施した場合、区も何%か上部や高架下を使えるという協定がある。現在、どの部分を区としては使うべきか選別している最中である。使い方については、今後、ワークショップ等で意見交換をしながら進めることも可能である。また、東北沢駅から世田谷代田駅まで連続して使える通路（基本、4m幅）は検討中で、区としても防災機能として上部を使うことは、有効だと考えている。
 - （質疑2） 車が通れる道路として、（梅ヶ丘～鎌倉通りまでを）つなげてほしいのだが。
 - （区応答） 小田急線の上部については、荷重の問題もあることから、平常時は基本、

- 歩行者のための通路とすることを考えている。
- (質疑3) 代田地区の基礎データ(4頁)についてだが、代田地区だけでなく、北沢総合支所管轄エリアや世田谷区全体などと比較ができるようにしてほしい。代田地区だけだと、結論ありきのデータのような気がしてしまう。ホームページに掲載した配布資料では、代田地区の基礎データに世田谷区全体のデータを追加したものを掲載しました。
- (質疑4) 人口世帯データだが、人口増が結構あるように思うのだが、理由はあるのか。
- (区応答) 敷地が分割され、建売住宅の増加などが関係しているのかもしれない。ただし平成16年からは、大部分を占める第1種低層住居専用地域で最低敷地規模(容積率により70㎡か80㎡)の規制が入った影響があり、そこからは人口増は鈍化している。また、最近は一戸あたりの世帯員が減少し、空き家が増加するなどの減要素もある。
- (質疑5) 小田急線の上の部分の空地は、どう使うのだろうか。一部、住宅街として開発される予定があると聞いた。それらを進めるより、まずは廃校になる守山小学校をどのように利用するのか、そちらを先に検討をするべきではないのか。一体、区は何をやるようとしているのかわからない。
- (大戸コンサルタント応答) まちづくりは、開発をすることではなく、どんな街にしたいのか、地域のみなさんと考えていくことから始めるのが大前提。区やコンサルタントがこんな街にします、と決めて進めることではない。
- (区応答) みなさんが話し合い、そのなかでルールを決めていくことが、世田谷区の方法である。世田谷区は、街づくり条例のもとに、敷地規模、生け垣化等についてのルールを決めることができる。それらを進めるには、まずは、地域で組織化をしてもらう必要がある。開発ありきの話でもない。あと、小田急線上部については、基本は小田急の持ち物である。ただし、連続立体交差事業の上部、高架下については、自治体と鉄道業者で協議して進めることになっていて、一部は区が使えることになっている。駅前広場、防災ひろば、通路などは区が整備をしていきたいと考えている。あとは小田急が担当することになる。駅から近ければ商業開発するかもしれないし、遠ければ住宅となるかもしれないが、鉄道上部なので大きいものは建てないはずである。最終的に区と合意した内容が、上部利用通信やホームページで出されるだろう。このような議論を積み重ねていければと考えている。

(注) なお、この後の11月21日に世田谷区・小田急電鉄株式会社共同記者会見が行われ、小田急線上部の施設配置(ゾーニング構想)が公表されましたが、当日の発言を基に作成してあります。

4. 意見交換

- 参加者は3つのグループに分かれ、代田の街づくりについて意見交換を行った。コンサルタントが進行役となり、報告を聞いた感想や地域で心配していること、問題になっていること、改善したい点などについて話し合った。
- グループごとに話し合った内容は、各グループの進行役が代田のベースマップに書き込みを行ったものを基に全体発表を行い、各グループの話し合いの結果を共有した。
(意見交換の内容は、別添「意見交換のまとめ」からご覧ください。)

5. 次回以降のご案内

- 今回と同じ内容の第1回学習会を、来週の土曜日にもう一度開催いたします。
(11月16日(土)午前10時~ 新代田まちづくりセンター)
- 第2回学習会は、「防災まちづくりの考え方と方法について」をテーマに12月4日(水)午後6時から代田小学校にて開催いたします。本日オブザーバーとして参加され、永年都市計画の教鞭を執られた渡辺俊一先生による講演も予定しておりますので、引き続き次回もご参加願います。

6. 閉会(20:00)

以上

第1回 代田の街づくり学習会 意見交換のまとめ (平成25年11月6日代田小学校開催分)

※文章最後のアルファベットは、グループ名です。

◆道路・交通について(地区外)
・井の頭線東松原駅周辺、特にスーパー前の通りが危険である。(C)

◆まちづくりの進め方について
都市計画道路(補助54号線)の計画があるため、特に6丁目は、一体的にまちづくりを考える必要がある。(C)

◆街並みについて
・敷地が広くお屋敷街である。(C)

◆道路交通について
・道路が狭く、坂道が多い。(C)
・環七と鎌倉通りを結ぶ東西の道以外、一方通行にするなどして、車の交通規制をしてほしい。(C)

◆その他
・代田5丁目の人は、大体、下北沢に買物に行く(C)

◆守山小学校について
・校舎は、耐震性がある。学校統合後もしばらくは公園にはならないと思う。(A)
・まだ使える校舎は活かしてほしい。(A)
・子どものいる町に！守山小学校の統合はやめてほしい。小学校がなくなると子どもが減ってしまう。例えば、保育園+小学校などを組み合わせた複合施設としてほしい。(A)
・守山小学校・花見堂小学校が廃校になる。活用のあり方を検討していきたい。(C)
・守山小学校が廃校になる。6丁目としては外せないまちづくりのテーマ。活用のあり方を検討していきたいし、そちらの計画と一体的にまちづくりを考えていく必要がある。(C)

◆その他
・この低地は、かつて埋め立てが行われた。(B)

◆道路・交通について
・6丁目の東西道路で見通しの悪い道路がある。歩行者用のカーブミラーをつけられないか。(A)

◆道路・交通について
・5丁目の東西道路は大型車の交通が多い(特に明け方)。ゴミ収集車の通行も多い(鉄道に向けた行き止まり路が多いため)。(A)

◆道路・交通について
・右折の時間規制となっているがはずしてほしい(赤堤通りから代田5丁目7と9番の間)。(A)

◆防犯について
・駅周辺は工事中で塀があり、人目がない道、見通しも悪い。(B)

◆防災について
・区の土木・公園管理事務所がある。防災の拠点施設にできるとよい。(B)

◆道路・交通について
・商店街の通りは交通量が多い。駐車がある、通学時に問題あり。(B)

◆世田谷代田駅周辺について
・駅周辺の工事の進行に応じて、代田小学校児童の安全を確保したい(工事の進行に応じた対策が必要)。(A)
・工事状況で歩く場所が頻繁に変わる。学校に連絡して父兄に知らせてほしい。(B)
・駅広場西側での赤堤通りからの右折は現在禁止となっているが、どうなるのか。(B)
・昔の道を復元したい。歩道橋になったのは、やや残念。(B)
・環七を通るバス停が駅から離れている。駅から近くしてほしい。(C)

◆道路・交通について
・世田谷代田駅前から環七へ下る(代田2丁目)坂道で自転車どうしがぶつかり、死亡事故があった。(C)

◆道路・交通について
・交通規制は全般的に見直してほしい(代田2丁目地内)。(A)

◆防災について
・代田2丁目などの防災上の問題のある区域は、要因と対策についてもう少し分析が必要ではないだろうか。(A)
・特に木造住宅が多いので災害時が心配。(A)

◆道路・交通について
・代田2丁目は、道路は細いが落ち着いた環境の道。(A)

◆街並みについて
・もともと落ち着いた静かな地区で、雰囲気がとてもよいところ。(C)
・細い道で静かな雰囲気であるため、高齢者がゆっくりと散歩するには、よい道がある。道路を拡幅すると、車が進入してきて、散歩がしにくくなるのではないかと心配である。(C)
・これまで1棟だった宅地に、数棟建築された場所がある(3階建)。住宅と住宅の間の距離も50cm程度である。細分化が進んでいるようだ。(C)

◆みどり・公園について
・緑が少ない。(A)
・広い公園がほしい。(A)

◆道路・交通について
・代田1・3丁目はなぜ道が整備されているのか。(A)

◆道路・交通について
・この交差点が危ない。改善してほしい。(A)

◆道路・交通について
・代田小から西側の通学路が問題である。(B)

◆防犯について
・代田小の西からの通学路は大回りして羽根木公園経由(赤堤通りは不可)。雨の時や冬夕方は暗い、子どもが寄り道しやすい。(B)

◆道路・交通について
・代田小学校前の道と赤堤通りの交差点、羽根木公園脇の道と赤堤通りの交差点は非常に危険で怖い。(C)

◆道路・交通について
・環七横断橋～赤堤通り間の代田小学校までの歩道の安全確保は考えられているか。(A)
・赤堤通りのカーブ、見通しが悪い。(B)

◆防犯について
・赤堤通りは歩道がなく歩いて危険、暗いところがある。(B)

◆道路・交通について(地区外)
・北沢税務署前の南北の通りが整備され、とてもよくなっている。(C)

◆道路・交通について
・羽根木公園入り口の押しボタン式の信号は、あまり利用されておらず危険である。(A)

◆小田急線上部利用について
・公園が少ないので、公園を確保してほしい(世田谷代田駅と下北沢駅の間)。(C)
・梅ヶ丘～下北沢間は、東西の車交通を円滑にするためにも、車道にできないか。(C)
・線路上に住宅を建てるという話を聞いたが本当か。(C)
・上部利用の情報が少ない。方向性を提示してほしい。(C)
・学園団んぼしてほしい。5年前から提案している。(C)

◆その他
・環七からの階段はどうか、神社側に階段はできるのか(B)

◆道路・交通について
・環七から梅ヶ丘駅までの通りを、きちんとしたバスルート(バス通り)として、整備したい。(C)
・整備すると、車が益々通り、交通渋滞になるのではないか。(C)
・果たして地区にバスを通してよいのだろうか。(C)

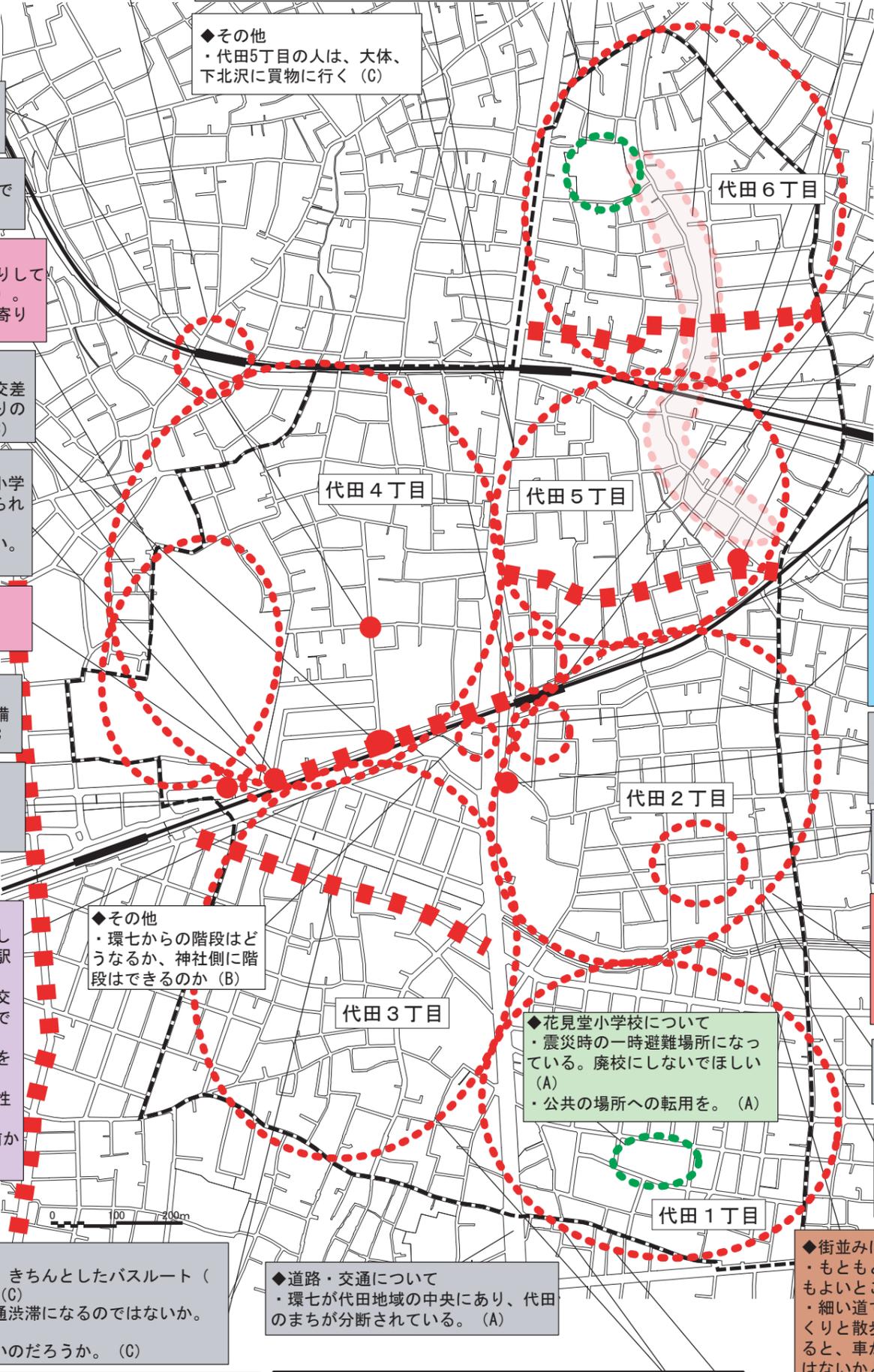
◆道路・交通について
・通学路の安全確保が必要である。(B)

◆防災について
・災害時の避難や諸活動のしくみをつくる必要がある。(B)

◆防犯について
・夜暗いところの対策が必要である。(B)

◆その他
・若い人と子どもたちが集まる場所がほしい。(A)
・子育てに適した街づくりを進めてほしい。(A)
・子どもが住みよいまちに。(A)

◆その他
・若い人と子どもたちが集まる場所がほしい。(A)
・子育てに適した街づくりを進めてほしい。(A)
・子どもが住みよいまちに。(A)



0 100 200m